

2020年度（令和2年度）

# 北九州市立大学大学院

法 学 研 究 科 （ 修 士 課 程 ）  
法 律 学 専 攻

## 学部推薦制度

## 学生募集要項

# 目 次

<b>A 教育目的・アドミッションポリシー</b>	1 ページ
<b>B 入学試験概要</b>	2 ページ
<b>C 出願について</b>	
1. 出願資格	3 ページ
2. 出願手続	3 ページ
3. 出願上の注意	3 ページ
4. 入学検定料の免除について	3 ページ
5. 出願書類	4 ページ
6. 受験及び就学上の配慮について	4 ページ
<b>D 試験について</b>	
1. 試験会場	5 ページ
2. 受験上の注意	5 ページ
<b>E 試験後</b>	
1. 合格発表	5 ページ
2. 入学手続	6 ページ
3. 入学金等納付金一覧	6 ページ
4. 年間授業料	6 ページ
<b>F 法学研究科の概要</b>	7 ページ

## 【要項添付書類】

- ・ 入学願書 様式 1
- ・ 受験票・宛名カード・写真票 様式 2
- ・ 入学志願者調書 様式 3
- ・ 推薦書 様式 4

# A 教育目的・アドミッションポリシー

		法学専攻			
《教育目的》		高度化・複雑化する地域社会における多様な法的・政策的課題に対応しうる高度な研究能力を備えた人材、専門的知識を持ちかつ適切な問題解決能力を備えた人材、地域貢献を目指す高度で知的素養のある社会人の養成			
		研究者コース	専修コース		
		高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、法律学・政策科学等の社会科学の分野の研究者として必要となる精緻な専門的知識、創造性豊かな優れた研究能力・問題分析能力、高度な実践能力を備えた人材の養成	高度専門教育に対する社会的需要の高まりに対応して、高度で知的な法学の素養を持ち、法律学、政策科学のいずれかに軸足を置いた創造性豊かな優れた研究能力、専門的・実践的知識を身につけた高度専門職業人または社会人の養成		
《求める学生像》		法律学系	政策科学系	法律学系	政策科学系
		<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する法分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○政治学・行政学などの社会科学に関する基礎知識を備え、自らが専攻する政策科学の分野において研究者を目指すのに相応しい優れた学識と適性を備えた人</li> <li>○社会問題の解決に自らの研究成果を積極的に生かし、未来社会の構築に積極的に貢献しようとする姿勢を有した人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○大学卒業後、そのまま進学して公務員、司法書士、裁判所事務官・検察事務官などの隣接法律専門職を目指す人</li> <li>○学士課程で修得した法律知識を補強し、さらに高度の法的素養を備えた社会人を目指す人</li> <li>○実社会の経験を基に、法的課題をより専門的に考究する意欲があり、そのための基礎的な知識、能力が備わっている社会人</li> <li>○リカレント教育または生涯教育を志す社会人</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○学士課程では十分学習できなかった政策学的知識を補強するべく引き続き幅広く勉学を続け、高度の政策的素養を備えた公務員、教員、政治家、ジャーナリストなどの高度専門職業人を目指す人</li> <li>○実社会の経験を基に、政策に関連した特定の課題に強い関心を持ち、その専門的な知見を深め、研究成果を社会に還元することで地域社会等の問題解決・発展に貢献したいと考えている社会人</li> <li>○リカレント教育または生涯教育を志し、職業経験を通じて養われた専門的知見を学問的見地からより深め、それを再び職業経験や社会的活動の中で活かすことを望む社会人</li> </ul>
《求める能力》	(1)知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究者として法律学を学ぶために必要な幅広い法的専門知識と法的素養を身につけている。</li> <li>○研究者として論文を執筆するために必要な、法令の解釈や適用に関する基礎的なスキルを身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究者として政策科学系の領域を研究するうえで必要となる社会科学の知識・方法論、語学運用能力を備えている。</li> <li>○政策科学系の分野を研究するうえで不可欠となる定量的あるいは定性的分析を行う能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律学を学ぶために必要な基礎学力や幅広い教養、経験を有している。</li> <li>○論文の執筆に必要な日本語能力やディスカッションに必要なコミュニケーション能力を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○社会問題に強い関心を持ち、専門研究を進める上で基礎となる社会科学の素養や分析手法を身につけている。</li> <li>○自らの専門研究に必要な基礎的読解力、論文作成に必要な文章作成力、語学運用力を有している。</li> </ul>
	(2)思考力・判断力・表現力等の能力	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法律学上の諸問題について、論理的に思考し、判断するための幅広い法的素養を持っている。</li> <li>○法律学の専門書を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○研究者になるに相応しい論理的思考力、読解力を有し、どのような分析手法を用いたらよいかについて適切な判断力を有している。</li> <li>○自らの考えについて説得力のある議論を展開し、研究内容・成果を適切に表現することができる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○法的諸問題について論理的に思考し、判断するための法的素養を持っている。</li> <li>○法律に関する文章を読解する能力や、法的議論を展開する表現力を身につけている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○自らの研究する政策科学の分野について論理的に思考し、研究内容・成果を相手に適切に伝え、文章化する基礎的な表現力を身につけている。</li> <li>○社会問題の現状分析を適切な手法を用いて行う判断力と解決策について提言する基礎的能力を有している。</li> </ul>
	(3)主体性を持って多様な人々と協働して学ぶ態度	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する、研究者として必要な自律的な姿勢を有している。</li> <li>○地域社会が抱える法的諸問題に対して、研究者として取り組む主体的な意欲を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域をはじめとした社会問題の解決に際して、研究者として主体性を持ち、多様な人々と協働して取り組む姿勢を有している。</li> <li>○自らが研究する分野において、研究者をはじめ多様な人々と協働して研究する姿勢を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○他者と協働しつつ、リーダーシップを発揮する自律的な姿勢を有している。</li> <li>○地域社会が抱える社会的諸問題に対して、積極的に関わろうとする主体的な意欲を有している。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>○地域等を中心とした社会問題に対して、研究成果を積極的に生かし、主体性をもって多様な人々と協働して問題を解決しようという強い意欲や態度を有している。</li> </ul>

## B 入学試験概要

日程	夏期日程	冬期日程
願書受付	2019年7月16日(火)～7月23日(火)必着	2019年12月2日(月)～12月6日(金)必着
受験票発送日	2019年8月15日(木)頃	2020年1月14日(火)頃
試験日	2019年8月25日(日)	2020年2月2日(日)
合格発表	2019年8月30日(金)	2020年2月7日(金)
入学手続	2019年12月17日(火)～12月20日(金)	2020年3月9日(月)～3月13日(金)

コース	分野	募集	集合場所	集合時間	試験科目	時間
研究者コース	法律学系	若干名	北方キャンパス本館	13:45	面接	14:00～
専修コース	政策科学系	若干名		13:45	面接	14:00～

### 【学部推薦制度奨学給付金制度】

学部推薦制度により修士課程へ入学した者のうち、成績優秀者上位3名程度に対しては、法学研究科委員会にて選考の上、奨学給付金（141,000円）を入学後に支給する。

## C 出願について

### 1 出願資格

法学研究科へ内部進学する本学法学部の在學生（早期卒業見込みの3年生を含む）で、以下の①～③のうちいずれかの要件を満たす者

- ① 「優れた学業成績」及び「教員1名（\*1）の推薦」
- ② 「その他の顕著な活動実績」及び「教員1名（\*1）の推薦」
- ③ 指導教員または指導予定教員を含む学科教員3名（\*2）の推薦

\*1) 法学研究科において研究指導または研究指導補助を担当する教員（来年度担当予定を含む）に限る

\*2) 法学研究科において研究指導または研究指導補助を担当する教員1名を含むこと

### 2 出願手続

#### (1) 出願受付期間

夏期日程	2019年7月16日(火)～7月23日(火)必着
冬期日程	2019年12月2日(月)～12月6日(金)必着

#### (2) 出願方法

受付窓口の混雑を避けるため、できる限り郵送で出願してください。

##### ① 郵送する場合

必ず書留速達で上記期間内に到着するよう出願してください。

ただし、出願受付期間最終日の前日以前の発信局（日本国内）消印のある書留速達郵便に限り、上記受付期間後に到着した場合でも受理します。

送付先： 〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号  
北九州市立大学広報入試課入学試験係

##### ② 窓口持参する場合

本学に直接持参する場合は、次のとおり広報入試課入学試験係窓口（北方キャンパス本館1階）にて受付を行います。上記期間内にお願いしてください。（土・日・祝日は除く。）

受付時間：平日 9:00～16:00（12:15～13:15を除く）

### 3 出願上の注意

- ① 願書受付後には、いかなる理由があっても出願書類の変更は認めません。
- ② 願書受付後は入学検定料の返還には応じられません。
- ③ 出願書類に不正の事実があった場合は、入学許可後であっても合格を取り消します。
- ④ 提出された出願書類の返却はできません。

### 4 入学検定料の免除について

2020年度入学試験において平成28年熊本地震、平成30年7月豪雨及び平成30年北海道胆振東部地震で被災された志願者の入学検定料の免除を行います。

入学検定料の免除を希望する場合は、出願手続の前に次の連絡先に相談してください。詳細については、本学ホームページにてご確認ください。

連絡先 北九州市立大学広報入試課入学試験係 TEL093-964-4022  
ホームページアドレス <https://www.kitakyu-u.ac.jp/>

## 5 出願書類

出願者は下記の書類を一括して、角形2号(24cm×33.2cm)の封筒（各自で用意してください）に入れ、封筒の表に「**法学研究科入学願書在中**」と朱書きしてください。また封筒の裏には住所、氏名を記載して広報入試課入学試験係あて提出してください。

出願書類等	摘 要
入学願書 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">様式1</span>	所定の様式に沿って記入してください。 写真は縦4cm×横3cmの大きさで、上半身脱帽・無背景・正面向きで、出願前3ヶ月以内に撮影されたもの。（カラー、白黒を問わない） 写真裏面に氏名を記入して所定の欄にしっかり貼り付けてください。
受験票・宛名カード・写真票 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">様式2</span>	所定の様式に従って記入してください。
入学志願者調書 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">様式3</span>	所定の様式に従って記入してください。
入学志望理由書	任意様式で作成してください。（2000字程度）
研究計画書	任意様式で作成してください。（2000～4000字程度）
受験票送付用封筒	定型封筒（長形3号23.5cm×12cm）にあて名を記入し、【夏期82円、冬期84円】分の切手を貼ったものを提出してください。 <b>※窓口持参する場合も必要です。</b>
推薦書 <span style="border: 1px solid black; padding: 2px;">様式4</span>	所定の様式を用いて作成し、厳封されたものを同封してください。
卒業見込証明書	原本。自動証明書発行機で出力したもの。
修学簿	写し。（出願前年度3月初旬に学務第一課から発行されたもの。）
住民票	原本。外国人留学生のみ提出してください。 （出願前1ヶ月以内に作成したもの。）
入学検定料 （郵便為替）	郵便局で <b>入学検定料30,000円の郵便為替</b> を購入し、 <b>受取人欄は記入せず</b> に同封してください。

※卒業見込証明書等の氏名が出願書類と異なっている場合は、戸籍抄(謄)本を提出してください。

## 6 受験及び就学上の配慮について

障害や疾病などで、受験上及び就学上特別な配慮を必要とする入学志願者は、その措置を講ずるための審査が必要となりますので、事前に相談のうえ準備の都合上、出願期間初日の2週間前までに必要書類を添えて申し出てください。審査の結果、必要と判断された措置の内容を通知しますので、その通知書を添えて出願していただくことになります。

連絡先:北九州市立大学広報入試課入学試験係 TEL 093-964-4022

### \* 個人情報の取扱いについて

- ・本学が所有する個人情報は、関係法規に基づき慎重に取扱い、以下の目的以外で利用すること、または第三者に提供することはありません。
- ・志願者の氏名、生年月日、連絡先などの個人情報は、入学者選抜、合格発表、入学手続、調査研究及びこれらに付随する業務の遂行に利用します。
- ・合格者の個人情報は、入学手続者に対する入学前指導、入学後の教務関係、学生支援関係、授業料徴収関係などに関する業務のために利用します。

## D 試験について

### 1 試験会場

- (1) 会場 北九州市立大学北方キャンパス 北九州市小倉南区北方4-2-1
- (2) 交通 JR小倉駅下車→北九州モノレール小倉線(小倉駅)  
→競馬場前下車(徒歩3分)  
※車での来場は固くお断りします。

### 2 受験上の注意

- (1) 受験当日は、必ず受験票を持参してください。受験票が試験日の前々日までに未着の場合は、広報入試課入学試験係(093-964-4022)にご連絡ください。
- (2) 面接の遅刻は認めません。
- (3) 面接は、14時開始となります。また、受験者が多い場合等、面接開始までに時間がかかることがあります。面接控室での待機となりますので、読書など長時間待機できる準備をしておいてください。(携帯電話等通信機器の使用は認めません。)

## E 試験後

### 1 合格発表

- (1) 合格発表日時

夏期日程	2019年8月30日(金) 午前9時
冬期日程	2020年2月7日(金) 午前9時

- (2) 合格発表方法 合格者受験番号を本学正門掲示板に掲示するとともに合格者のみに発表日当日に簡易書留で合格通知書を発送します。  
【合否に関することや、受験番号の問い合わせには一切応じません】
- (3) 合格発表場所 北九州市立大学北方キャンパス正門前掲示板  
北九州市立大学ホームページ (<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>)  
\*ホームページ掲載は午前10時ごろ

## 2 入学手続

(1) 入学手続期間 ※理由のいかんを問わず、入学手続期間の延長は行いません。

夏期日程	2019年12月17日(火)～12月20日(金)
冬期日程	2020年 3月 9日(月)～ 3月 13日(金)

(2) 入学手続に関する詳細については、「合格通知書」送付の際にお知らせする予定です。

(3) 入学手続には、受験票が必要です。大切に保管しておいてください。

(4) 入学手続期間内に入学手続を完了しない場合は、入学辞退として取り扱います。

(5) いったん納入した入学金は、いかなる理由があっても返還いたしません。

(6) 期間内に入学金の納入、必要書類の提出を完了した者に入学を許可します。

## 3 入学金等納付金一覧 ※現行の金額です。変更となることがあります。

種 別		金 額		備 考
入 学 金		市内居住者	282,000 円	
		市外居住者	423,000 円	
諸 会 費	法学会費	会 費	12,000 円	
	同窓会費	入 会 金	30,000 円	既に納めている方は不要
		会 費	20,000 円	
	後援会費	会 費	20,000 円	
15,000 円			注) 本学在学時に会員であった方	
学生教育研究災害傷害保険料			1,750 円	
学研災付帯賠償責任保険料			680 円	

- 備考 1 北九州市内居住者とは、入学する本人又はその配偶者もしくは2親等以内の親族が、入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は市民税非課税者)であり、かつ入学金納入のときまで引き続き北九州市内に住所を有する者をいい、それを証明する書類(市民税納税証明書、住民票など)が必要となります。なお、「入学の前年度において北九州市の市民税納税義務者(又は市民税非課税者)」であるためには、2019年1月1日現在北九州市に在住していることが必要です。
- 2 保険料及び諸会費の金額はいずれも一括納入額(保険料、学会費は2ヵ年分、同窓会費は終身会費、後援会費は在学期間中における会費)です。
- 3 本学では、学生の教育研究活動中の事故によるケガ等に備えて、全学生に「学生教育研究災害傷害保険」及び「学研災付帯賠償責任保険」に加入をしていただき、万が一の場合、学生の負担軽減を図ることとしています。
- 4 諸会費については、入学の必須条件ではありません。

## 4 年間授業料 ※現行の金額・納入方法です。入学時に変更となることがあります。

年間授業料	納入期限		納入方法
	(第1期)	(第2期)	
535,800 円	267,900 円	267,900 円	口座振替による、年間2期の分割納入です。入学手続時に口座振替依頼書を提出していただきます。

※ 在学中に授業料の改定及び納入方法等の改定が行われた場合、改定時から適用されます。

## F 法学研究科の概要

### (1) 概要

法学研究科は、本学の基本理念である「地域に根ざし、時代をリードする人材の育成と知の創造」の実現に向け、北九州都市圏を中心とする福岡・山口県域における法学に関する教育研究の中核的役割を担うため、1984（昭和59）年に設置されました。設置以来、本研究科では、時代・社会のニーズの変化に対応して大学院改革にも積極的に取り組んでまいりました。2013（平成25）年度からは、社会経験・知識の豊富な社会人学生と若年学生との相互啓発を図りながら、多様な進路希望に応じた大学院教育をより充実・強化するために、従来のアドヴァンストコースと社会人コースを統合した「専修コース」と研究者養成を目的とする「研究者コース」の2つの履修コースにしました。

さらに、教育課程においても大幅な見直しをしました。2013（平成25）年度から実施された新しい教育課程では、いわゆる「コースワーク制」を導入しています。具体的には、法律学専攻として共通する「専攻共通科目」（必修）、法律学系と政策科学系の各々に系共通の「専門基礎科目」（必修）を新設しました。学生がこれらの幅広い基礎的能力や俯瞰的なものの見方を修得した上で専門分野を選択し、それぞれの研究指導へと有機的につながるよう、これまでよりも体系的な教育課程に再編しました。なお、社会人の受け入れを容易にするため夜間を中心とした昼夜開講制、より広範な知識を修得できるため Semester 制を導入しています。

### (2) 取得学位

修士（法学）

### (3) 資格

中学校教諭専修免許状（社会）、高等学校教諭専修免許状（公民）

※申請中。ただし、文部科学省による審査の結果、予定している教職課程の開設時期が変更となる可能性があります。

### (4) コース・系

#### ①研究者コース

各自の専門分野をより深く学んで、将来研究者になろうと考えている人のために、修士論文の作成を中心とした教育研究指導を行うコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の2つの系を設置しています。

#### (法律学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的かつ批判的に分析、議論できる能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の多様な法的問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。
- 研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身に付ける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする法分野の研究を一層深め、高度な法的思考力、法的観点から論理的かつ批判的に分析、議論できる能力を形成します。また、その過程を通じて、主体的な研究態度等を身につけます。

### (政策科学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、課題発見・解決能力、高度化・複雑化する地域社会の諸問題に対応できる総合的な視野を形成する上で必要となる関連分野の基礎的素養を身につけます。
- 研究者コースでは、担当指導教員の個別指導のもとで、将来研究者として自立するために必要な能力を身に付ける特別研究を履修します。専門科目で修得した高度な専門的知識と総合的な視野、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、自らが専門とする政策科学分野の研究を一層深め、確かな情報収集・分析能力、課題解決に有用な政策立案能力・政策評価能力を形成します。また、その過程を通じて、政策学的な観点から説得力のある議論を展開していく能力や主体的な研究態度等を身に付けます。

### ②専修コース

高度な専門知識を有する職業人・知的素養のある社会人を目指す人のために、学部での学習や社会人としての経験から関心を持った特定の課題について、幅広い視野に立ちながら、より専門性の高い研究ができるように指導するコースです。各自が希望する専門分野に応じて、法律学系、政策科学系の2つの系を設置しています。また、夜間のみ受講で修了可能なように時間割が組まれています。

### (法律学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で法律学固有の調査研究方法論を含む法律文献調査の基礎を系統的に学習し、論理的・批判的な分析能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する法分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる法分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。
- 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定の課題を法学的な観点から深く掘り下げて研究し、批判的分析能力・論理的思考能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身に付けます。

## (政策科学系)

- 導入科目である専攻共通科目において、法律学・政策科学の全体を俯瞰し、自らが専門として研究しようとする分野の法学全体の中での位置づけを把握するために必要となる知識を修得します。
- また、同時並行的に、専門基礎科目で政策科学固有の調査研究方法論の基礎を系統的に学習し、自らの専門的研究からの適切なアプローチの手法、課題解決に必要な情報収集・分析能力、政策評価能力の基盤を築きます。
- 専門科目では、自らが専門として研究する政策科学分野の高度で精緻な専門的知識とともに、地域社会で中核的な役割を担う高度専門職業人・知的素養のある社会人として必要となる政策科学分野の専門的・実務的知識を幅広く学習します。
- 専修コースでは、各自の経験から関心をもった特定の政策的課題について、複数の教員による指導体制のもとで研究していく特定課題研究を履修します。特定課題研究では、幅広い視野に立ちながら、専門科目で修得した高度な専門的・実務的知識、専門基礎科目で身につけた調査研究方法を駆使し、特定課題を深く掘り下げて研究し、実証的調査研究能力・実践的政策提言能力、地域社会の中でリーダーシップを発揮する積極的・主体的な行動力等を身に付けます。

(1) 担当教員・専門分野・研究テーマ（非常勤講師は除く）

### (法律学系)

分野	教員名		専門分野・研究テーマ
憲法	◎ 教授	中村 英樹	憲法、自己決定権論、表現の自由論、放送法制を中心としたメディア法論
憲法		准教授 石塚 壮太郎	憲法、比較憲法（ドイツ、アメリカ）、国家目標規定、社会権・環境権
行政法		准教授 近藤 卓也	行政法、国家賠償法制、公務員の個人責任、水害訴訟
民法		未定	
民法	◎ 教授	矢澤 久純	民法、損害賠償論、時効制度など
民法	◎ 准教授	福本 忍	民法、契約解除の基礎理論・要件論、解除と危険負担の関係、フランスの解除法制
民法		准教授 清水 裕一郎	民法、担保物権法、特に動産担保（動産先取特権、譲渡担保、所有権留保など）に関する諸問題
商法	○ 教授	今泉 恵子	商法、決済・金融取引制度と有価証券法制、企業金融法
商法	○ 教授	高橋 衛	商法、コーポレート・ガバナンスと会社法、取締役責任論
民事訴訟法	◎ 教授	小池 順一	民事訴訟法、破産法、とくに当事者論、訴訟承継、異訴訟当事者間の訴訟資料の利用
刑法	○ 准教授	大杉 一之	刑法、違法論と正当化理論、とくに正当防衛と承諾の正当化根拠と要件
刑法	○ 准教授	土井 和重	刑法、財産犯論、刑法上の損害回復と刑罰論の関係
刑事訴訟法		准教授 水野 陽一	刑事訴訟法、刑事手続における公正な裁判、被害者の権利など
刑事学	○ 教授	藤田 尚	刑事政策、犯罪学、少年非行、司法と福祉の連携、社会的養護と犯罪予防

(法律学系のつづき)

分野	教員名		専門分野・研究テーマ
法哲学	◎ 教授	重松 博之	法哲学、法思想史（ヘーゲル承認論および現代正義論）
法社会学	◎ 准教授	林田 幸広	法社会学、法主体論、公共性論、フーコー(Foucault, M) 権力論
国際法	◎ 教授	二宮 正人	国際法、国際機構法（国際機構と加盟国との間の法的関係の分析：安全保障・人権・開発分野の活動を対象に）
労働法		未定	
社会保障法	◎ 准教授	津田 小百合	社会保障法、社会保険制度の基礎構造に関する法的諸問題

(政策科学系)

分野	教員名		専門分野・研究テーマ
行政学	◎ 准教授	森 裕亮	行政学、地方自治論、特に、地域住民組織をめぐる組織間関係の研究
政治思想	○ 准教授	大澤 津	政治理論、特に分配的正義論
政治学	准教授	中井 遼	比較政治学、実証政治理論
政治学		未定	
途上国開発論	◎ 教授	三宅 博之	南アジア地域研究、南アジア都市開発論・都市社会論、ESD（持続可能な開発のための教育）研究
地域経済政策論	◎ 教授	田代 洋久	地域（都市）政策、地域ビジネス論、観光まちづくり、文化的資源を活用した地域の魅力づくりに関する研究
比較政治経済学	◎ 教授	坂本 隆幸	比較政策論・対外政策研究
公共政策論	◎ 教授	檜原 真二	北九州市を中心とした地域公共政策、とくに超高齢社会のまちづくり、NPO・社会起業論を中心とした市民社会論
環境政策論	◎ 教授	申 東愛	政策過程、制度比較分析（日韓中、独逸、米国の環境政策）、環境政策、低炭素都市政策（日韓中、独逸）、再生エネルギー政策、ガバナンス論
福祉政策論	◎ 教授	狭間 直樹	行政学、社会保障論、公共サービス（特に社会福祉サービス）の民営化・市場化、非営利組織の公益性についての研究
政策評価論	◎ 准教授	横山 麻季子	行政学、地方自治論、特に地方自治体における評価制度・活動による行政サービス等へのインパクトに関する実証研究など

(注)

◎は研究指導教員（「◎」記載の教員から研究指導教員を選び、入学願書様式1に記入してください）

○は研究指導補助教員

# 様式 1

受験番号  
(記入不可)

2020年度北九州市立大学大学院（修士課程）  
法学研究科入学願書

試験区分・日程	
<input type="checkbox"/> 学部推薦制度（夏期日程）	<input type="checkbox"/> 学部推薦制度（冬期日程）
ふりがな	性別
氏名	男・女
氏名アルファベット表記(外国人留学生のみ)	
生年月日（西暦） 19 年 月 日 年齢（2020年4月1日時点） 歳	国・地域（留学生のみ）
合格通知等連絡先（現住所）	
郵便番号 —	
電話番号（ ） —	携帯電話（ ） —
緊急連絡先（本人以外）※日本国内居住者に限る	
郵便番号 —	電話番号（ ） —
	携帯電話（ ） —
ふりがな	
氏名 _____	（続柄） _____

**写真貼付欄**

- ・ 縦 4cm×横 3cm
- ・ 上半身、脱帽、無背景、正面向き
- ・ 出願前3ヶ月以内に撮影したもの
- ・ 写真の裏に氏名を記入し、全面のりづけ

## ○志望するコース・分野の口欄にレを記入してください

研究科名	コース	分野	希望する研究指導教員名(注1)
法学研究科	<input type="checkbox"/> 研究者コース	<input type="checkbox"/> 法律学系	
	<input type="checkbox"/> 専修コース	<input type="checkbox"/> 政策科学系	

※ 受験番号の欄は記入しないこと。

※ (注1)希望する研究指導教員名は9～10ページの研究指導教員（「◎印記載の教員」）から選んで記入すること。

※ 希望する研究指導教員に事前に出願の内諾を取ること。

(裏面へ)

受験番号  
(記入不可)

履歴書			
年	月	年数	経歴等
自	年	月	高等学校名（中等教育）
至	年	月	
自	年	月	大学・学部等・学科等（高等教育） 北九州市立大学
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	職歴
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	
自	年	月	
至	年	月	

**○研究成果・報告書・公的資格などこれからの研究の参考となる経歴について記入すること**

年・月	タイトル	備考（論文の内容・認定機関名他）

2020年度 北九州市立大学大学院法学研究科（修士課程）  
入学試験受験票

受験番号（記入不可）		
試験区分・日程	<input type="checkbox"/> 学部推薦制度（夏期日程）	<input type="checkbox"/> 学部推薦制度（冬期日程）
氏 名		
研 究 科 名	法学研究科	
コース（注1）	<input type="checkbox"/> 研究者コース	<input type="checkbox"/> 専修コース
分野（注2）	<input type="checkbox"/> 法律学系	<input type="checkbox"/> 政策科学系
試 験 日 時	夏期日程	2019年8月25日(日)
	冬期日程	2020年2月2日(日)
集 合 時 間	13時45分集合	
試 験 会 場	北九州市立大学 北方キャンパス本館 093-964-4022 (募集要項裏表紙の案内図を参照)	

- \*受験番号は記入しないでください。
- \*太枠内のみすべて記入してください。
- \*（注1・2）は入学願書と同じ項目の□欄にレを記入してください。
- \*面接の遅刻は認めません。
- \*受験票と宛名カードは切り離さないでください。
- \*この受験票は入学手続きに必要です。試験終了後も大切に保管しておいてください。

受付印

宛名カード

〒	—
住所	_____
氏名	_____様
受験番号（記入不可）	_____

宛名カード

〒	—
住所	_____
氏名	_____様
受験番号（記入不可）	_____

宛名カードは、合格通知等を送付する際に使用します。宛名は、志願者本人に限ります。住所は、通知を確実に受け取れる住所（団地・アパート名・号室等まで）記入してください。なお、宛名カードは2枚とも同じ住所を記入してください。出願後に住所変更を行った場合は、必ず入学試験係へ連絡してください。

写真票

志望研究科名
法学研究科
<div style="border: 1px solid black; padding: 10px; margin: 10px auto; width: 80%;"> <p>写真貼付欄</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・縦4cm×横3cm</li> <li>・上半身、脱帽、無背景、正面向き</li> <li>・出願前3ヶ月以内に撮影したもの</li> <li>・写真の裏に氏名を記入し、全面のりづけ</li> </ul> </div>
ふりがな 氏名 _____
受験番号（記入不可） _____

受験番号  
(記入不可)

## 2020年度北九州市立大学大学院法学研究科 入学志願者調書

志願研究科 法学研究科	
ふりがな	
氏 名	
学部・学科	(      年      月卒業見込み)

○学部等での専攻分野について記入しなさい

学部等でのゼミまたは 専攻の専門分野	
指導教員名	

○本大学院で研究しようとする分野および研究指導教員について記入しなさい

本大学院で研究しようとする専門分野	
希望する研究指導教員名	

○入学志望理由書・研究計画書等

次の様式に従って入学志望理由書および研究計画書を作成してください。その際、必ず志望研究科名と氏名を明記してください。

提出書類	内 容 量	様 式
入学志望理由書	2000 字程度	ワープロ原稿が望ましい
研究計画書	2000～4000 字程度	ワープロ原稿が望ましい

## 推薦書

北九州市立大学大学院 法学研究科長 様

年 月 日

## 1. 推薦対象学生

学籍番号 \_\_\_\_\_

学生氏名 \_\_\_\_\_

## 2. 推薦理由 (該当する項目 1 つにチェックを入れた上で、具体的理由を記して下さい)

- GPA 優秀 (GPA 値 \_\_\_\_\_)                       研究予定領域の成績優秀  
 専門ゼミにおけるきわめて優れた研究活動  
 顕著な社会活動                       公的資格取得 (資格名 \_\_\_\_\_)  
 語学検定の優れた成績 (検定名及び成績 \_\_\_\_\_)  
 公務員試験・教員採用試験・教職免許の優れた学習状況  
 法学研究科における研究指導教員または研究指導補助教員 (来年度担当予定を含む)  
 1 名を含む学科教員 3 名の推薦

※できる限り推薦理由の内容を証明できる書類を添付して下さい

具体的理由

推薦教員氏名 \_\_\_\_\_ 印

推薦教員氏名 \_\_\_\_\_ 印

推薦教員氏名 \_\_\_\_\_ 印

## 試験会場



### お問い合わせ先

北九州市立大学広報入試課入学試験係

〒802-8577 北九州市小倉南区北方四丁目2番1号

TEL 093-964-4022 Email nyushi2@kitakyu-u.ac.jp

<https://www.kitakyu-u.ac.jp/>